

2020年12月24日発行

鵬 鷲

HOSAI

「鵬鷲」鵬は翼の中3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬（おおとり）が飛ぶ（=はるかなかなたの）空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一歩一歩目標に近付きたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬鷲」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。



八代経済開発同友会
(通巻第132号)

http://www.goroyoka-yatsushiro.com
E-mail:jimukyoku@goroyoka-yatsushiro.com

八代経済開発同友会 令和2年度 スローガン 尖（トガル）



鋭い感性（個性）とアイデアに基づき 夢の実現に向けた同友会活動を行う

八代経済開発同友会 第57代 代表幹事
吉武卓哉

皆さんこんにちは。平素より八代経済開発同友会の事業運営に対しましてご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

11月に入り国内の新型コロナウイルス感染者が急増し、11月12日から3日連続で過去最多を更新し、全国的に感染拡大に歯止めがかからない状況が続いております。熊本県内においても新型コロナウイルス感染リスクレベル（6段階）においてレベル3（警報）の状況が続いておりますがコロナ禍の中、当会各委員会の委員長さんのリーダーシップの元、例会運営、各委員会事業を3密を重視しながら展開しています。

例年ですと妙見祭が開催される時期ですが、本年度は神事のみ執り行われ八代経済開発同友会としましては献灯運動を実施し、11月1日～12月1日迄、妙見宮の鳥居に企業提灯を80個点灯させて頂きました。また、2015年より実施しています、ど

や顔コンテスト写真を過去5年間のデータから抜粋し大型パネルを作成し、八代駅・ゆめタウン・イオンをはじめ、各金融機関に現在パネル展示をさせて頂いています。

更に、コロナ禍の中ではありますが目標にしていた会員拡大におきまして、会員数が3桁となる100名に到達いたしました。会員交流拡大委員会下田委員長をはじめ委員会メンバーの皆さん、大変お世話になりました。引き続き会員拡大においては、継続して力を注いでいきたいと考えてます。

「奉仕の志を持つ者が、共に集い、学び合い、幸福感のある企業と、活力ある地域づくりに貢献する」八代経済開発同友会の理念のもと100名の会員と共に、時代に合った委員会事業を展開してまいります。今後も関係団体の皆様方の御支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

やつしろの各店舗を利用される方へ、安心感を

#安心なまちやつしろプロジェクト

700～800店舗以上(12月20日現在)が登録を進めています。

登録店舗の
店先には
緑のステッカーが



店舗



安心なお店を
調べたい方はこちら



登録



事業者向け
登録されたい方はこちら

5月例会報告

5月25日19時からzoomにて5月例会を開催しました。4月より吉武代表幹事による新体制がスタートしましたが、新型コロナウイルスの影響で4月定時総会は書面決議となったため、初めに吉武代表幹事より所信を発表していただきました。次に各副代表幹事・委員長から方針発表が行われました。Web開催は初の試みでしたが、多くの会員に参加頂き無事に終了致しました。



を交えてお話し頂き、会の企業全体で施策を共有することが出来ました。具体的に何を、何をすべきかを全員で考える時間を作れた素晴らしい例会となりました。



7月例会報告



7月27日に八代グランドホテルさんにて7月例会を開催致しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月から6月まで例会が開催出来ず、今年度初の会員が集まったの例会でした。新型コロナウイルスの影響

で地域経済が今後更に厳しい環境が予想される中、コロナ禍・コロナ後の八代が発展していく為に必要なものをお話し頂くため、株式会社マルク代表取締役 小山光由樹様・アカウントマネージャー 甲斐翔太様にお越し頂き「八代経済に活力を取り戻す」～withコロナ時代の新しいビジネス戦略のヒント～と題してご講演を頂きました。各会員がそれぞれのビジネスヒントを得る事が出来た、この時代ならではの素晴らしい例会となりました。



9月例会報告

9月例会では熊本県土木部港湾課の職員様よりくまモンポート八代の施設説明を行っていただきました。参加メンバーで施設の現状を確認し、視察終了後には質疑応答を行い、現状で気になった点やコロナ対策等



についても質問がありました。質疑終了後には特別に参加された、八代商工会議所・八代青年会議所の代表者様から感想（意見）を頂き、皆様から幅広い意見を聞くことができました。また参加した皆さん全員がアンケート調査にご協力いただき、今後の【くまモンポート八代】の活用法・改善点を多角的な目で知ることが出来ました。

今後は八代経済開発同友会で事業（イベント）等を企画し、多くの皆様に【くまモンポート八代】を知って頂き、他団体や多くの市民・県民の皆さんが週末や祭日の際にイベント等で利用し、多くの方が訪れるようになることで八代の経済発展に寄与できると考えます。



行政・民間が一体となりクルーズ船の寄港を増やし、ノンシップデーの活用を充実させることで八代の経済発展に繋げて行くと共に、笑顔でまた来たいと思えるような八代の新しいランドマークを目指します。

8月例会報告

8月27日(木) 19時よりZOOMにて8月例会を開催しました。今回は外部講師として、八代商工会議所専務理事 松本章様にお越しいただき、「安心なまちやつしろプロジェクト」についてご講演頂きました。コロナウイルス感染症の業種別対策の例

10月例会報告



コロナ禍の影響も考え通常通りできるのか？web例会になるのか？通常では考えない事も考えながら

10月例会を開催することができました。演題は「SDGsを通して未来の八代のために」と題して、肥後銀行経営企画部サステナビリティ推進室の大有室長から、SDGsの基礎知識や肥後銀行様のSDGsへの取組み状況等について説明をいただき、引続き同室の山中様から熊本県内の取組み事例、特に人吉の「親孝行タクシーサービス」や氷川町の「アイデアコンテスト」等の事例など身近に感じる事ができ、

何より、今、4団体連携で行っている「安心なまちやつしろプロジェクト」がSDGsに関わる一番の近道である事にも気づかせて頂きました。

また、会員企業の中から、クギヤ印刷(株)様及び東京海上日動火災保険(株)様から事例発表をいただくなど、SDGsについて今回の例会を通して会員の理解を深めることができましたと思います。ご講演頂きました講師の皆様、またご参加頂いた、八代商工会議所及び八代青年会議所、並びに会員の皆様に御礼申し上げます。



コーヒーズブレイク

(情報発信委員会でのひとコマ)

- A：最近の技術進歩は目覚ましく、ドローンの実用化で、もうすぐ物流のあり方が変わりそうだね。
B：人を運ぶドローンタクシーも技術的には完成して許認可待ちだそうです。大空を直線で移動できれば、交通渋滞もなくあっという間に移動できそうですね。でも空中でドローン同士がぶつかって、空から降ってきたら怖いですね。
A：空は広いから、衝突することはないんじゃないの。
B：いやーわからないですよ。誰かが上空で核爆発を起こせば、電磁パルスが発生してサージ電流で半導体

や電子回路とかが焼き切れて、操縦不能となったドローンが空から降ってきますね。映画「マトリクス」で地下に生き延びる人類に対して人工知能が攻撃をかけてきたときに、撃退で人類が使用した電磁パルス爆弾がそれです。

- A：そういえば、そんなシーンがありましたね。
B：昔の「ノストラダムスの大予言」という本で「1999年7の月に恐怖の大王が来るだろう」という終末予言がありましたが、上空を行き来しているドローンが突然一斉に操縦不能で落下してくる大惨事の予言ではないかと心配です。
C：それより今度の「鵬際」紙面をどうするかが心配・・・。

新入会員の紹介



大村 隆行 会員

令和2年4月入会
趣味：バスケット・ゴルフ
釣り
株式会社 オオムラ

経営理念 私たちは、多様化するお客様のニーズに対応し、お客様のみならず地域社会に貢献できる「進化する企業」を目指します。これを満たすため、より快適でより効率的な環境へ向けての新たな提案と迅速かつ高品質なサービスを提供します。



岡崎 晶 会員

令和2年6月入会
有限会社
オートリバイヤー・オカザキ
趣味：キャンプ・サイクリング
サーフィン・読書

経営理念 安全・安心・快適を提供し、信頼ある人生のパートナーとして喜び溢れる豊かな生活の実現をお手伝いし、地域社会の発展に貢献します。



鶴 哲也 会員

令和2年7月入会
有限会社 白十字
趣味：読書

経営理念 人間尊重を基本とし、全てのお客様を家族と思い、感謝と信念をもって、『喜び・満足・安心感』を与えることにより、地域の人々に愛され、信頼される人財の会社になる。



橋本 貴喜 会員

令和2年6月入会
有限会社 橋本量店
趣味：サッカー



道田 好日 会員

令和2年9月入会
有限会社
道田自動車サービスセンター
趣味：合唱

経営理念 高い技術によってお客様の安全を守り、安心を提供する

7月豪雨を通して

芦北町の会社経営者A様に経営者の立場から被災後の対応や感じた事などをお聞き致しました。

★当日の状況

7/3夜中から雨が続き、何度も携帯に緊急大雨警報が通知有。4日午前4時過ぎから道路が冠水し、水位が上昇。自宅は5時半ごろ停電、6時半頃床上浸水（水俣港満潮7時44分）。しかし7時過ぎ頃から水位が下がり始めた。昼前には自宅周り歩行可能。避難所へ続く道はまだ浸水したままで車両通行不可。

午前6時過ぎから従業員より電話が掛かり始め、全従業員に『7月4日出社必要なし』と通達。この頃から電話がつながりにくい状態。東日本大震災、熊本地震を例に、日頃から全従業員に下記項目を通達していた。

① 災害時は自分の命を優先し、家族・地域のために動くこと

② 家族の安全を確認後、動けるようになってから会社に出社すること

③ 海の災害の場合は山側の人が、山の災害の場合は海側の人が出社を検討する

10時過ぎ、最も本社近くに住むA従業員に電話。『道路が数ヶ所倒木のため会社へ向かえません。』また流出物の中に車庫にあった新品タイヤや、事務用品、建物の柱らしき材木が見受けられたとの事。翌日A従業員の運転する車で会社へ（自宅に停めていた車は水没）。事務所・車庫が建物からコンクリート基礎ごと流出、車両も数台見当たらず壊滅的な被害。事務所等が流出した河川災害とは別に、敷地外からの土石流により従業員控室が流出し、敷地内に相当量の泥と流木が堆積。

★被災後の対応

《事務所など》

- ・ 仮事務所として自社所有の別事務所を使い、津奈木事業所は7/6から通常営業
- ・ 津奈木事業所従業員に、災害に対する物資・商品提供、応援を指示。
- ・ 7/8売上ソフト会社社長が中古パソコンを4台積んで芦北へ。伝票発行業務ができるように。
- ・ 本社勤務の従業員に7/13AM8時に集合を指示。7/13被災後初の朝礼実施、作業内容を全員に配布。主に後片付け（田畑や道路に散乱した会社関係資材を回収）

- ・ その後は毎日の作業内容指示及び出来高確認。車両等発注業務も同時進行
- ・ 7/27朝礼時に工程表配布。8/20より商品生産再開することを目標。
 - 後日従業員談
 - A：8/20なんて、無謀な！
 - B：先の目標を示してもらえて、やる気が出た。
 - C：社長のやる気が伝わった。
- ・ 流出した町道復旧を待っていれば何も出来ないのので、自費で地盤改良材を購入し、地元建設会社と共に町道埋め戻し作業を行った。
- ・ 敷地及び町道周囲を流れていた川が敷地内を縦断したため、河川土砂撤去及び流路を元の流れに戻すまでに4ヶ月要した。（地元建設会社が芦北町発注工事として担当）

《取引先》

- ・ 大口取引先に全て電話連絡。地元取引先は甚大な被害をご存じで、多くの方々からお見舞いの言葉を頂き、ありがたかった。何も知らずに電話された方にはその都度被害状況を伝え理解して頂いた。（災害1週間後、本社電話番号をそのまま仮事務所で使えたので連絡可能に）
- ・ 取引先への対応として
 - A：八代市と出水市の同業から、商品購入することを前提に交渉
 - B：在庫がある限り販売（津奈木事業所での引き取りのみ）。引き取りが困難な場合、在庫と今後の出荷などを考慮した結果、会社の復活を待って頂いた。天草地区の大口取引先は、災害後第1回目の出荷が盆明けとなり、間に合わせる事ができた。

★保険金・補助金

- ・ 保険で対応できたのは、事務所建物と事務所内備品のみ。車両関係は保険無し。保険金はすぐ入金された。新車から5年間は車両保険をかけておくべきだと感じた。
- ・ なりわい再建補助金が適用されると聞いて、自己負担も大きい完全復活できる見通しができ、日々の業務に頑張れた。補助金は有り難いが、普段の仕事をしながら書類作成や打合せがあるため残業が増えた。

★被災して感じたこと

- ・従業員が全員無事で、誰も退職しなかったので継続できた。従業員に感謝している。
- ・災害後、損害金額の大きさに戸惑いはあったが、事業を止めることは考えなかった。
- ・パソコンのデータ管理はクラウド等を利用しておくべきだった。(売上はパソコン設定ミス及びパソコン会社のミスによりデータが残らなかった)
- ・川(土砂)の中から回収したパソコンからデータ回収を試みたが出来なかった。
- ・保険内容の把握や見直しの必要性を感じた。
- ・日頃の取引先との関係性も重要。多くの方々に応援頂いた。→日頃の付き合いが大事。接待をするのではなく正直に取引先に向かい合うことが大事。



- ・裏切らない社員を育てること。トップのやる気(再建)をみせること。
- ・再建時にお金をけちらない。また早期の資金確保も必要だが、金利、返済期間、今後の売り上げを考え融資を受けるべき。融資と同時に金利を伝えた金融機関は4社中1社。金利を言わずに、『融資します』という言葉はあまり信じたくない。
- ・地域(会社より先にある集落)のことを考え、敷地内に仮設電柱を立てさせた。九電、NTTに対し協力できたことは良かった。
- ・支援物資はありがたかったが、気軽な電話での安否連絡は止めて欲しかった。特に関係の薄い方や、『不要・不急』の方。
- ・日頃から税理士事務所との密な連絡や資料の共有しておくべきと感じた。



ボランティア団体の代表B様にボランティアをする上での心得や準備品などをお聞きしました。

今回、被災を免れた八代平野において平時から準備しておきたい事・物について。先ず必要な物として[長靴]、及び根太の釘が長靴の底を抜いてしまい破傷風の原因になることを防止する[ふみ抜き防止インソール] [丈夫なゴム手袋] [スコップ] [土嚢袋] [てみ] [スコップ] [一輪車]は人力仕事として初期段階のマストアイテムといえる。

水害にあい床下の泥だしを急がなければならないと慌てて床板を剥がしてしまい安心していたら、カビの胞子は壁や天井にも及んでおり壁も天井も剥がさなければならないという、順番として非効率な被災家屋は多数みられた。そのなかで必要となった物として[防塵マスク] [ヘルメット] [ヘッドライト] [ゴーグル] [バール] [ハンマー] [モンキーレンチ] 壁から床下にゴミが落ちるのを防ぐための[ブルーシート]等がある。そしてむきだしになった根太に張る[コンパネ] コンパネを根太に固定させる[電

動インパクト] またコンパネの上で作業するための[脚立]に、埃が充満する室内の換気のための[扇風機]に電気が届かない家屋の深部を照らす[ライト]の存在の有無で作業効率は格段に違った。

屋外に目を向け活躍する物としてまず[重機]及び[重機の免許を有する人]さらに[ダンプ] [発電機] [延長コード]

灼熱の夏場は過度な発汗のため目立たなかったが[仮設トイレ]の有無は女性目線でボランティアに参加できるか否かの判断材料であった。

準備しておく事として[水害にあったときに]という冊子を読み、予備知識を持つておくのと迅速な正しい判断に近づくといえる。また何よりも被災地で最も必要なのは[マンパワー]と断言できる。このような[マンパワー]をいざというときに結集できる人間関係・信頼関係の構築こそが平時に準備すべきことの一つと言える。

八代妙見祭献灯式

八代経済開発同友会で行っている「献灯運動」は、街中が無数の提灯の光に包まれるイメージを目指し、毎年多くの皆様にご協力をいただいております。本年は残念ながら妙見祭の神幸行列が中止になりましたが、神事などは執り行われてました。本年も多くの企業様にご協力をいた



だき、妙見宮に約80個の企業提灯を献灯することができました。祭りの中心でもある妙見宮に灯りを灯すことで、コロナ禍においてもこの献灯運動を通して、人々の心にも灯りを灯していきたいと考えております。



どや顔事業「地域に夢を、みんなに笑顔を」



新型コロナウイルスの影響により本年度の八代妙見祭関連行事の中止が決定した中で、6年前にスタートした「どや顔コンテスト」を、この状況下に於いても何らかの形を変えて継続することで、伝統の保存・継承の一役を担い、若い世代をはじめ多くの方々へ「八代の宝」を伝え続ける必要があると考えております。

そこで、これまで6年間撮影した「どや顔写真」の数百枚を公共の場をお借りして展示させていただき、八代妙見祭が中止の中でも「祭」を身近に感じてもらうきっかけの一つとなればと企画致しました。迫力満点、是非ご覧ください。



☆12月23日～1月中 新八代駅にて展示予定

会員交流拡大委員会より

会員交流拡大委員会はコロナ禍の影響で慶寿の会を始め様々な親睦会を中止せざるを得ない状況下に見舞われました。この状況が長く続くと会の勢いなくなり会員拡大がおぼつかず、ただ時が経つのを待つ状況でした。これではいけないと思い、野外でソーシャルディスタンスを保ちながら親睦を深める事業として10月31日に鯛釣り大会を天草湯島沖で開催しました。朝6時に八代マリナを出航し、4人ずつ3隻に分かれ6時間におよぶ格闘の末、江崎会員が大工の意地をみせ、2位の吉川会員を退け62cmの見事な鯛をゲットし優勝されました。反省会は19時よりがらっばさんで開催し、三枝崎会員の調理で大変美味しく頂き、皆大満足でした。



事業者向けの支援制度

- 八代市新型コロナウイルス感染症予防対策補助金
備品購入・改修工事(上限10万)
- 八代市中小企業等
新型コロナウイルス感染症消毒補助金(上限10万円)

八代市のコロナ対策補助金
メニューはこちらより▶



この他にもIT導入補助金などの多様な補助金制度があります。